

2005年2月期 決算説明会

2005年 4月 26日



株式会社 メディカルー光

(JASDAQ 証券コード 3353)

. 2005年2月期 決算概要

. 2006年2月期 見通し

. 事業戦略と中期経営計画

2005年2月期 決算概要

■ 2期連続の増収・増益で過去最高益を達成

(単位:百万円)

	2004年2月期		2005年2月期		前期比	計画比
		構成比		構成比		
売上高	7,709	100.0%	9,270	100.0%	+ 20.2%	0.1%
売上原価	6,839	88.7%	8,254	89.0%	+ 20.7%	0.4%
売上総利益	870	11.3%	1,016	11.0%	+ 16.8%	+ 2.8%
販管費	533	6.9%	614	6.7%	+ 15.2%	+ 4.1%
営業利益	336	4.4%	401	4.3%	+ 19.2%	+ 0.9%
経常利益	279	3.6%	308	3.3%	+ 10.3%	+ 2.6%
当期利益	129	1.7%	166	1.8%	+ 28.8%	+ 0.6%

売上総利益
+146百万円
薬剤料比率
が増加

経常利益
当期利益とも
計画を達成

公開費用を計上

2005年2月期 決算概要

(単位:百万円)

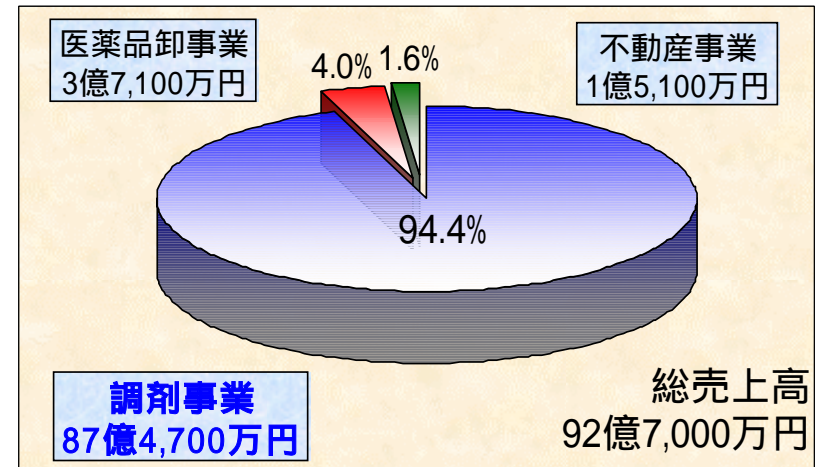
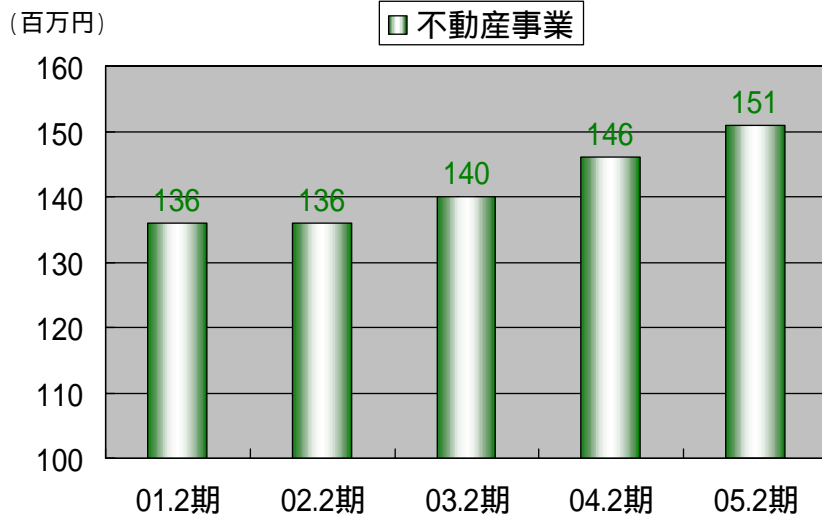
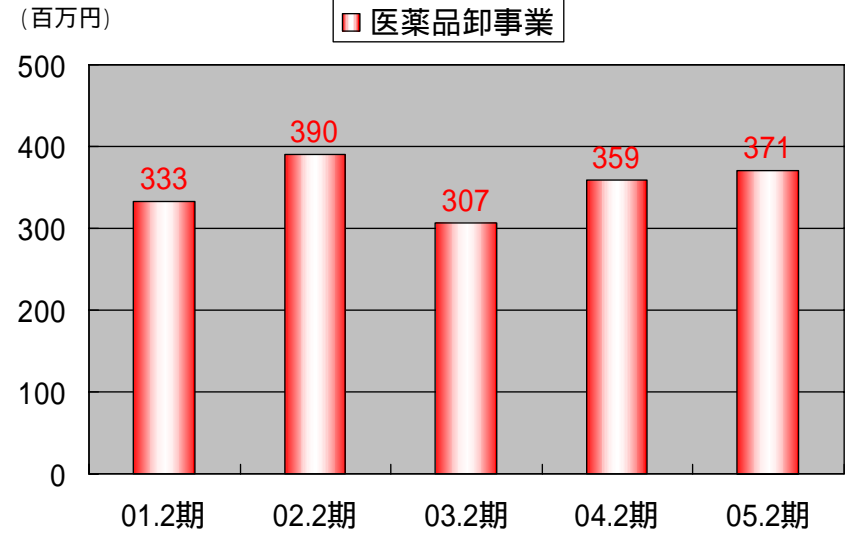
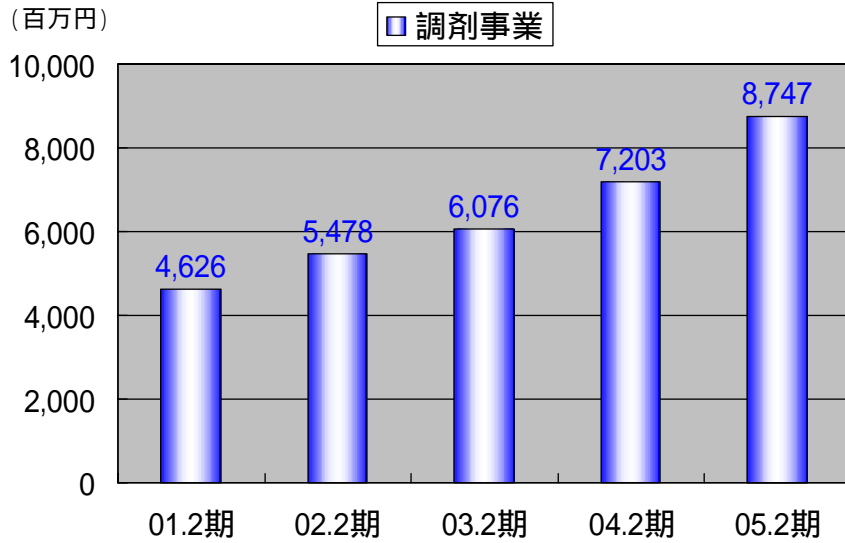
	2004年2月期		2005年2月期		前期比	計画比
		構成比		構成比		
売上高合計	7,709	100.0%	9,270	100.0%	+ 20.2%	0.1%
調剤事業	7,203	93.4%	8,747	94.4%	+ 21.4%	+ 0.4%
(薬剤料)	5,162	66.9%	6,381	68.8%	+ 23.6%	+ 0.4%
(技術料等)	2,040	26.4%	2,366	25.5%	+ 16.0%	+ 0.3%
医薬品卸事業	359	4.7%	371	4.0%	+ 3.3%	9.7%
不動産事業	146	1.9%	151	1.6%	+ 3.1%	± 0.0%

調剤事業の
売上拡大が
増収に貢献

販管費合計	533	6.9%	614	6.7%	+ 15.2%	+ 4.1%
(人件費)	336	4.4%	366	3.9%	+ 8.6%	0.7%
(租税公課)	27	0.4%	34	0.4%	+ 24.4%	+ 0.5%
(その他)	168	2.2%	214	2.3%	+ 26.9%	+ 14.2%

租税公課の大部分は消費税

事業部門別売上高推移



調剤事業の業績

(単位:百万円)

開局期別 売上構成	2004年2月期		2005年2月期		増減額	店舗数
		構成比		構成比		
売上高合計	7,203	100.0%	8,747	100.0%	1,544	-
既存店	6,679	92.7%	7,048	80.6%	369	46
04.2期出店	524	7.3%	985	11.3%	461	6
05.2期出店	-	-	713	8.1%	713	6

 病院 5
 診療所 1

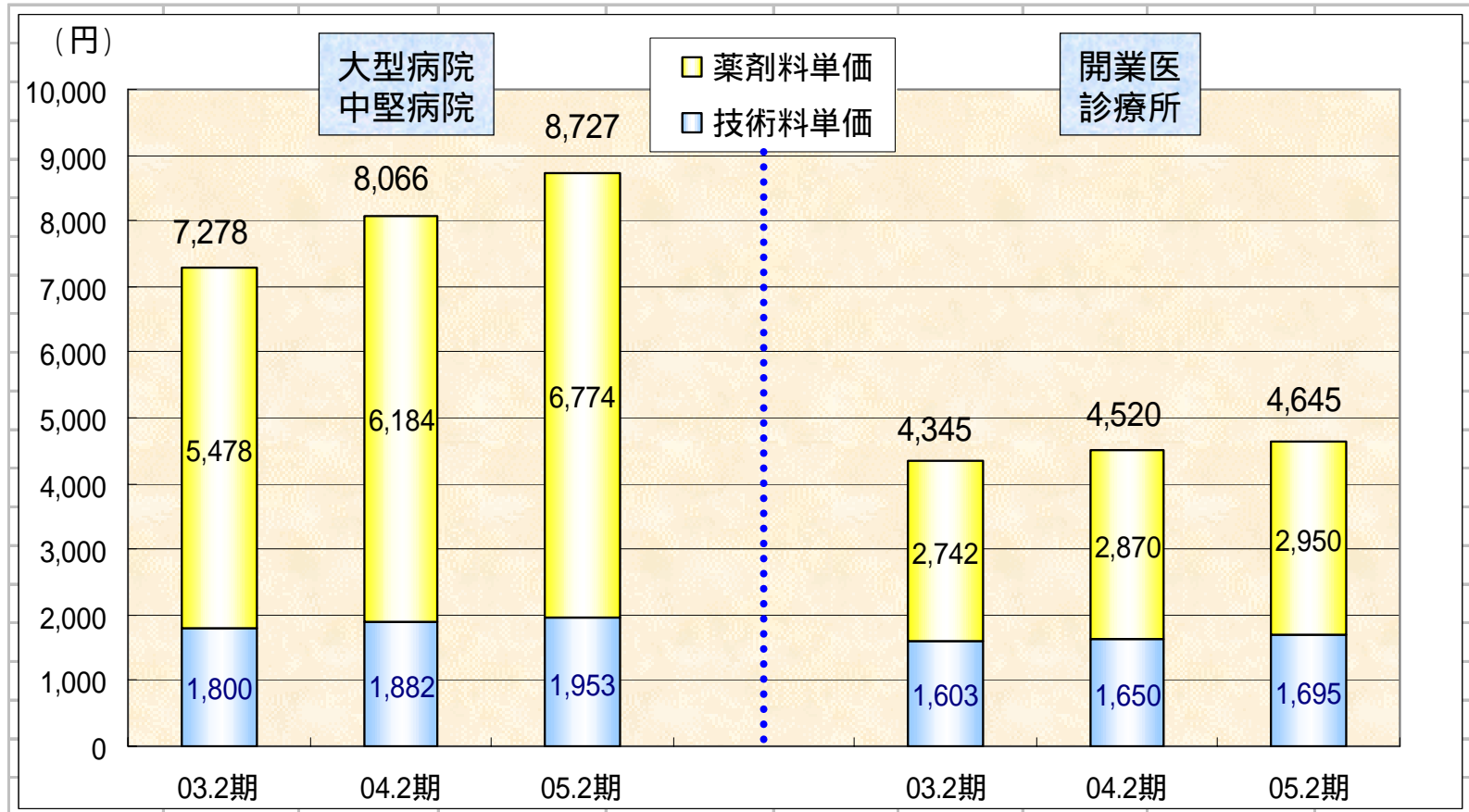
病院 6

売上原価 内訳	2004年2月期		2005年2月期		増減額	前期比 (%)
		構成比		構成比		
売上原価合計	6,509	100.0%	7,918	100.0%	1,409	+ 21.7%
(材料費)	4,687	72.1%	5,765	72.8%	1,077	+ 23.0%
(労務費)	1,323	20.3%	1,562	19.7%	239	+ 18.1%
(その他)	497	7.6%	590	7.5%	92	+ 18.6%
売上総利益	693	-	828	-	134	+ 19.4%

 労務比率
 0.6ポイント
 改善

■ 店舗規模別 処方箋単価推移

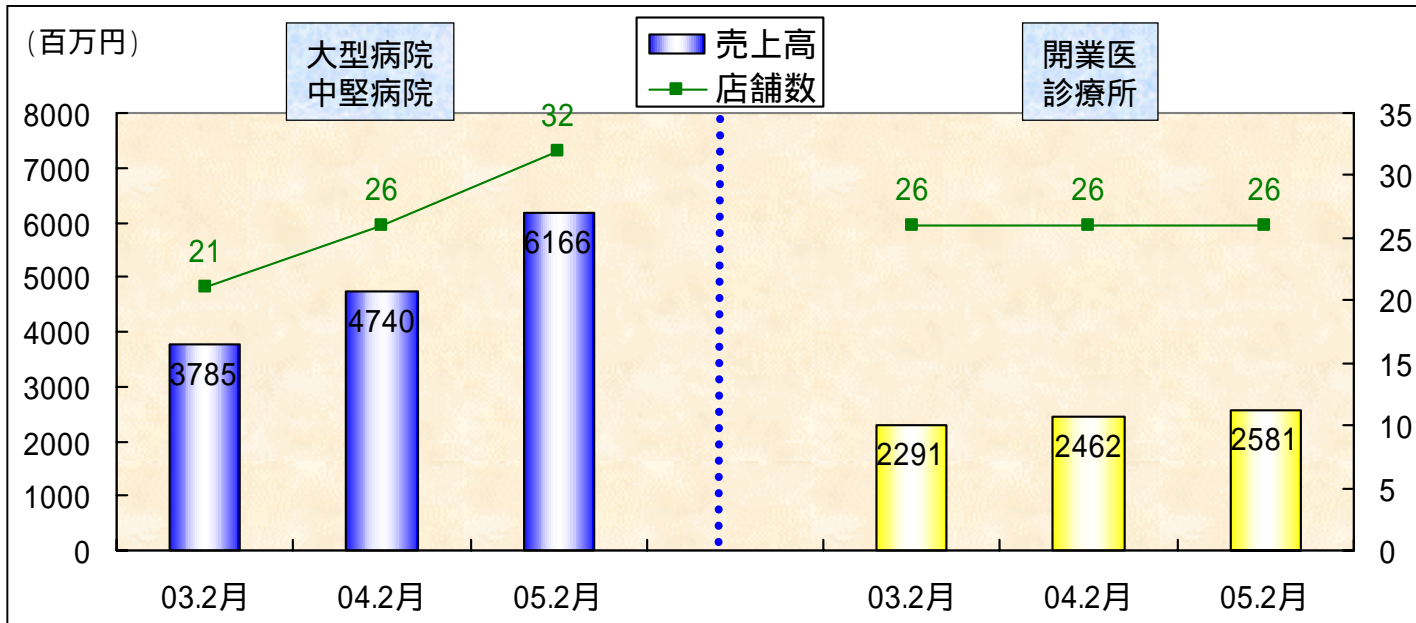
■ 大型/中堅病院の薬剤料単価が大幅に上昇



■ 新規出店と店舗規模別売上

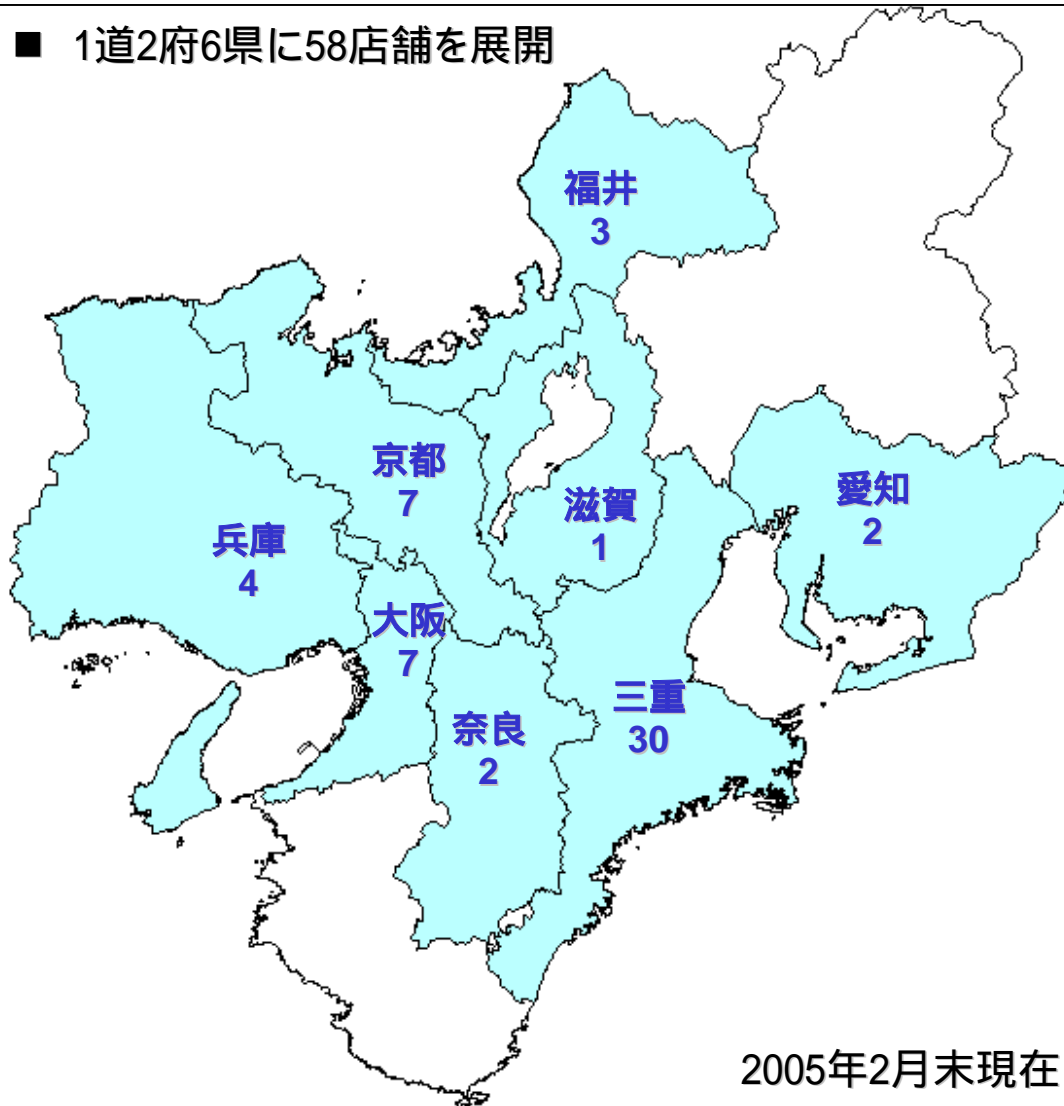
■ 大型病院前への積極的な出店により売上高が増加

	04.2月 店舗数	05.2月期		05.2月 店舗数
		出店	退店	
大型・中堅病院	26	6	0	32
開業医・診療所	26	0	0	26
計	52	6	0	58



■ 店舗展開の状況

■ 1道2府6県に58店舗を展開



【05年2月期の出店】

- フラワー薬局 湖東店 (滋賀県)
- フラワー薬局 柏原店 (兵庫県)
- フラワー薬局 三宮店 (兵庫県)
- フラワー薬局 新町店 (三重県)
- フラワー薬局 福島店 (大阪府)
- フラワー薬局 八鹿店 (兵庫県)

2005年2月期 貸借対照表

(単位:百万円)

	2004年2月期		2005年2月期		増減額	
		構成比		構成比		
流動資産	2,452	39.1%	2,992	43.6%	239	公募増資 売上増加
現預金	956	15.2%	1,199	17.5%	242	
売掛金	1,083	17.3%	1,317	19.2%	233	
その他	412	6.6%	476	6.9%	64	
固定資産	3,822	60.9%	3,866	56.4%	44	
有形固定資産	3,195	50.9%	3,265	47.6%	70	
無形固定資産	49	0.8%	28	0.4%	21	
その他	578	9.2%	572	8.4%	5	
資産合計	3,275	100.0%	6,859	100.0%	583	
負債合計	4,635	73.9%	4,843	70.6%	208	買掛金増加 公募増資 及び利益
流動負債	2,116	33.7%	2,346	34.2%	230	
固定負債	2,518	40.2%	2,496	36.4%	21	
株主資本計	1,639	26.1%	2,015	29.4%	375	
負債・資本合計	6,275	100.0%	6,859	100.0%	583	

■ キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2004年2月期	2005年2月期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	71	270	199
投資活動による キャッシュフロー	389	187	202
財務活動による キャッシュフロー	243	159	84
現金等の増加額	75	242	317
現金等の期首残高	1,031	956	74
現金等の期末残高	956	1,199	243

. 2005年2月期 決算概要

. 2006年2月期 見通し

. 事業戦略と中期経営計画

■ 今期計画の前提条件

■ 新規出店と不採算店の閉店

	05.2月 店舗数	06.2月期		06.2月 店舗数
		出店	退店	
大型・中堅病院	32	6	2	36
開業医・診療所	26	0	1	25
計	58	6	3	61

■ 退職給付会計基準の変更(簡便法 原則法)に伴う特別損失の発生

■ 外形標準課税の適用

■ 2006年2月期 見通し

■ 調剤事業を中心に投資を拡大

(単位:百万円)

	2005年2月期実績		2006年2月期計画		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	9,270	100.0%	10,600	100.0%	1,330	+ 14.3%
売上原価	8,254	89.0%	9,584	90.4%	1,330	+ 16.1%
売上総利益	1,016	11.0%	1,015	9.6%	1	0.1%
販管費	614	6.7%	652	6.2%	37	+ 6.1%
営業利益	401	4.3%	362	3.4%	39	9.8%
経常利益	308	3.3%	310	2.9%	2	+ 0.6%
当期利益	166	1.8%	126	1.2%	40	24.1%

新規出店が期の後半となるため、先行経費を予算化
(売上総利益影響額 84百万円)

退職給付会計基準の変更に伴う特別損失47百万円を予算化

2006年2月期 見通し

(単位:百万円)

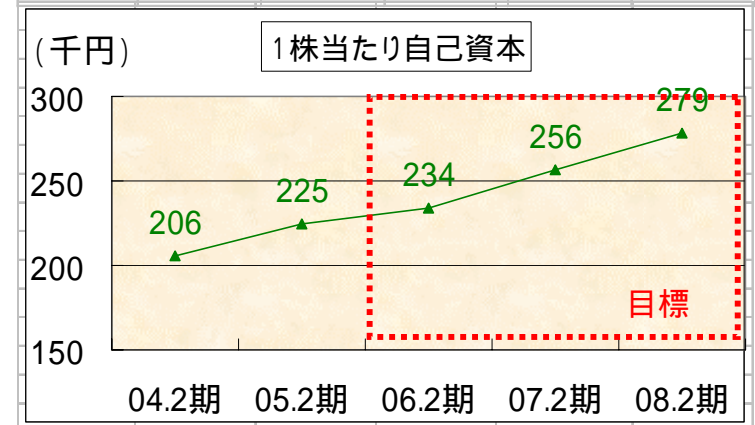
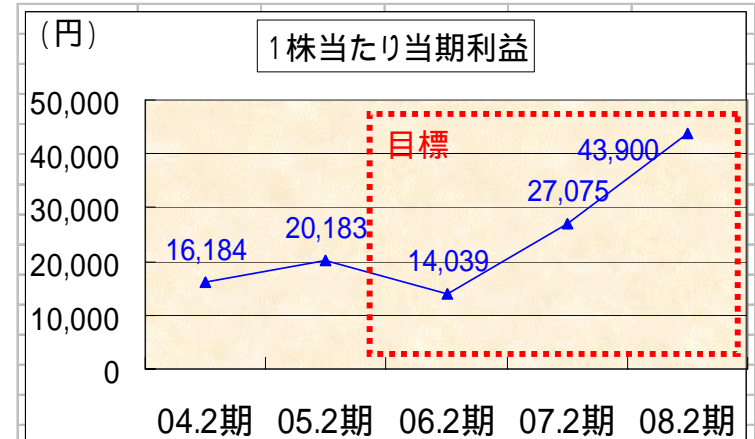
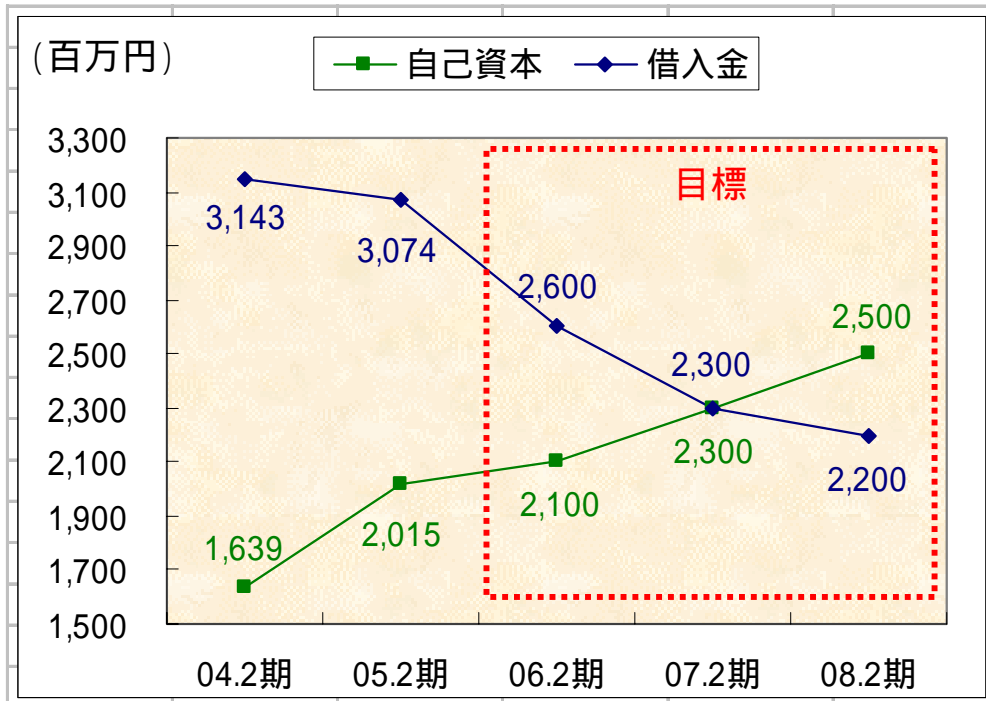
	2005年2月期実績		2006年2月期計画		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高合計	9,270	100.0%	10,600	100.0%	1,330	+ 14.3%
調剤事業	8,747	94.4%	10,023	94.5%	1,276	+ 14.5%
(薬剤料)	6,381	68.8%	7,482	70.5%	1,101	+ 17.2%
(技術料等)	2,366	25.5%	2,541	24.0%	175	+ 7.3%
医薬品卸事業	371	4.0%	424	4.0%	53	+ 14.2%
不動産事業	151	1.6%	151	1.4%	0	± 0.0%

販管費合計	614	6.7%	652	6.2%	37	+ 6.2%
(人件費)	366	3.9%	401	3.8%	35	+ 9.8%
(租税公課)	34	0.4%	50	0.5%	16	+ 48.6%
(その他)	214	2.3%	199	1.9%	14	6.8%

外形標準課税12百万円

2006年2月期 財務指標目標

- 1、2006年2月期の投資額は295百万円(M&Aは除く)
- 2、借入金の減少 3,074百万円 2,600百万円(一部売上債権の流動化)
- 3、自己資本の増加
- 4、減損会計対応は2007年2月期 100百万円予定

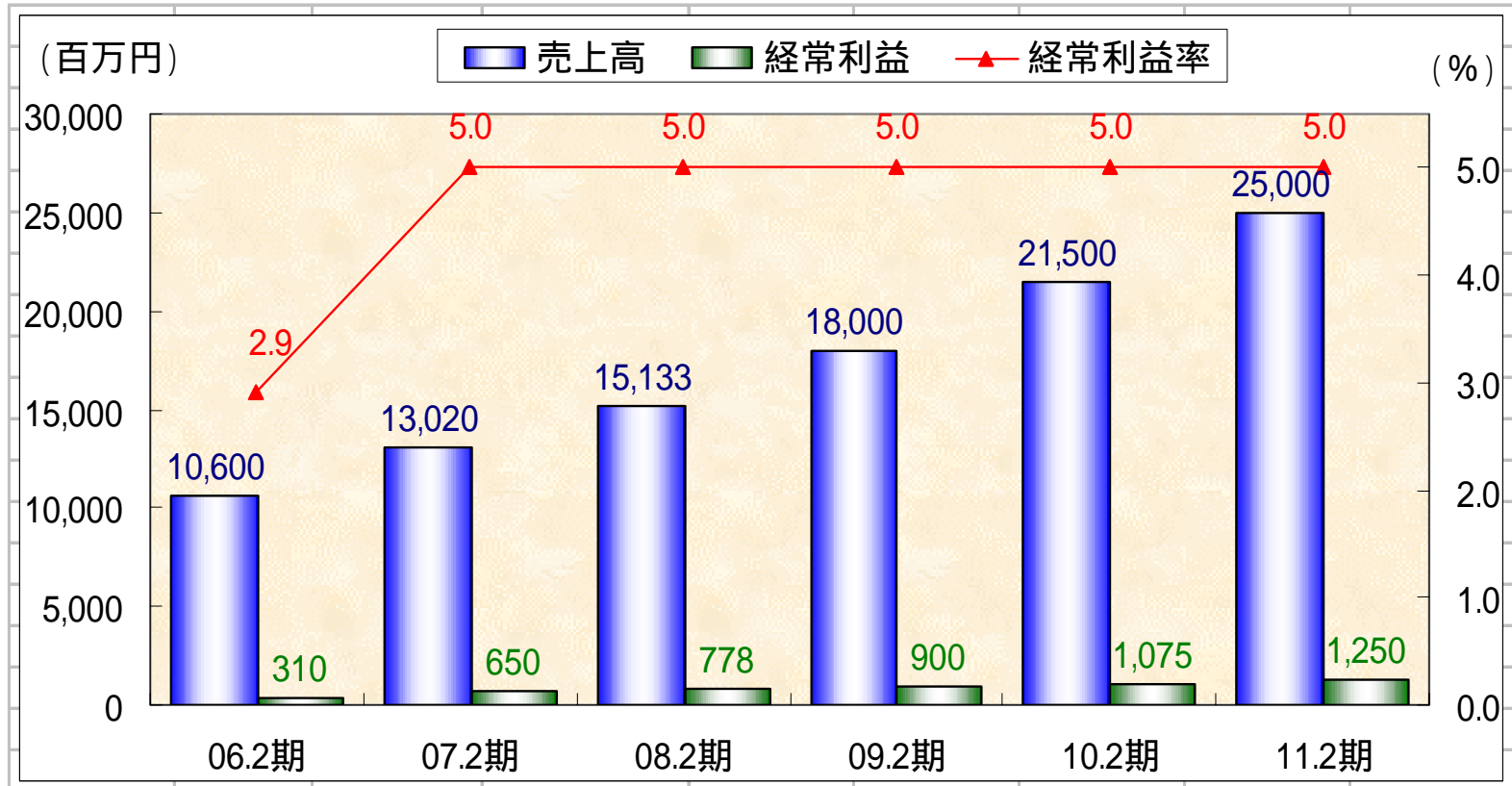


. 2005年2月期 決算概要

. 2006年2月期 見通し

. 事業戦略と中期経営計画

■ 中長期計数目標



■ 中期経営計画

	06.2期	07.2期	08.2期
売上高	10,600	13,020	15,133
(調剤事業)	10,023	12,398	14,461
(医薬品卸事業)	424	450	490
(不動産事業)	151	172	182
経常利益率	2.9%	5.0%	5.0%

(単位:百万円)

- 06年2月期、売上高100億円を達成
- 07年2月期、経常利益率5%を達成
- 08年2月期、売上高150億円を達成

■ 出店戦略

■ 医薬分業率の低い関西圏での出店を加速

【 医薬分業率の高い地域 】

秋田県	72.3%
佐賀県	69.8%
神奈川県	69.2%
沖縄県	67.3%
宮城県	65.1%
新潟県	64.7%
東京都	64.1%
宮崎県	61.8%
北海道	60.9%

【 関西・中部圏の医薬分業率 】

兵庫県	50.1%
岐阜県	47.5%
滋賀県	44.5%
三重県	43.1%
愛知県	41.1%
奈良県	37.3%
大阪府	36.3%
京都府	29.6%
福井県	18.1%

関西・中部圏の分業率は
全ての府県で全国平均を
下回る

全国平均	52.7%
------	-------

(出所) 日本薬剤師会
平成16年3月～平成16年7月平均

■ 出店戦略

- 2006年1月、大阪府枚方市に大型店を出店
 - ✓ 当社最大の売上規模を見込む
 - ✓ 薬剤師の教育・研修施設として活用



【建設中の関西医科大学附属病院】



【フラワー薬局枚方店(仮称)イメージ】

■ 調剤事業の戦略

■ M&Aの推進

- ✓ 重点施策として担当部署を設置

■ 医薬品卸事業とのシナジー効果

- ✓ 医療機関からの医薬分業情報を収集して新規出店
- ✓ 三重県を中心とする中部圏のドミナント化

■ 患者様への提供サービス拡大

- ✓ 安全性を最優先
- ✓ 患者様満足度 (Patient Satisfaction) の向上

■ 医療制度改革への対応

- ✓ 医療関連資格の取得奨励

■ 医薬品卸事業の戦略

■ 販路の拡大

- ✓ ジェネリック医薬品市場の成長を追い風に売上増を図る
- ✓ 三重県を中心に愛知県・岐阜県に販路を拡大
- ✓ 大型病院と契約・取引拡大(三重大学附属病院)

■ アンテナ機能の強化

- ✓ 新規開拓エリアでの分業情報の収集

■ 不動産事業の戦略

■ 医療関連施設の賃貸

- ✓ 鹿島病院(島根県)の病院施設賃貸を中心に安定的な高収益率を維持
- ✓ 医療関連施設を対象物件とした賃貸業務を拡大

■ メディカルモールの開発

- ✓ 今期中に、三重県久居市にてメディカルモールを着工

■ 所有不動産の有効活用

■ 不動産事業の中核施設

- 不動産事業の中核となる賃貸病院施設
(医療法人財団 公仁会 鹿島病院)



■ コーポレートガバナンス

■ 社外取締役、社外監査役制度の充実

- ✓ 昨年5月、社外監査役を3名に増員
- ✓ 社外取締役の招聘

■ 有効な内部統制の構築

- ✓ 社内監査室、監査役、会計監査人の円滑な連携

■ リスク管理体制の整備

- ✓ コンプライアンスの遵守

■ 問い合わせ先

株式会社メディカルー光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：ir@m-ikkou.co.jp

URL：http://www.m-ikkou.co.jp